



四日市市立大矢知興譲小学校
校長だより 15号 R8.9.9

大雨の中の緊急引き渡しを振り返って

9月8日（火）の午後、空が暗くなり、激しい雨が降り続き、雷の音も聞こえました。

1年生の下校時刻が近づく中、学校では通常どおり下校させることができるのか検討を始めました。教頭が通学路を確認したところ、道路の冠水が見られたため、14時30分の1年生の下校は危険と判断し、教室で待機することとしました。

その時点では、雨の状況を見ながら15時20分に2～6年生と一緒に下校することも考えていました。しかし、雨は弱まらず、保護者の皆様からも「道路が冠水している」「マンホールから水が2mほど吹き上がっている」など、通学路の危険な状況が次々と寄せられました。こうした状況から、徒歩での下校は危険であると判断し、全校で緊急引き渡しを行うことを決定しました。

突然のお願いにもかかわらず、多くの保護者の皆様にご対応いただき、18時にはすべての子どもたちを無事に引き渡すことができました。また、通学路の状況を学校へお知らせくださった皆様にも助けていただきました。ご協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。

もちろん、すぐにお迎えに来ることができた方ばかりではありません。電車が止まり帰宅が難しくなった方、仕事のためすぐには学校へ向かえない方、自宅周辺が冠水し家を出られない方もおられました。緊急引き渡しの連絡を受けながら、ずいぶん気をもまれたことと思います。学校では、お迎えまで子どもたちを安全にお預かりしています。どうか無理をせず、ご自身の安全も確保したうえで迎えに来ていただきたいと思います。

本校では、これまでも緊急引き渡し訓練を行っており、多くのクルマが集中することは想定していました。訓練では、南門から入り北門から出る一方通行とし、校長を含む複数の教職員を交通整理に配置しています。

しかし、実際の緊急時は訓練と同じではありませんでした。教職員の多くは子どもたちの安全確保と引き渡しにあたり、管理職は刻々と入る情報を整理して判断し、職員への指示や保護者の皆様への情報提供を行います。さらに職員室では電話対応が続き、当初は交

通整理に人員を配置することができませんでした。

そこで、安全管理のできない北門は開放せず、南門のみから出入りしていただきました。その結果、運動場内や周辺道路に渋滞が生じ、長時間お待ちいただいた方もありました。その後、引き渡しが進んだ段階で、残っている子どもたちを各学年1組の教室に集約し、そこで生まれた人員を交通整理に配置して、北門からもクルマを退出させる対応に切り替えました。

今回の経験から、「訓練でできること」と「実際の緊急時にもできること」は同じではないことを実感しています。徒歩でのお迎えをお願いする方法も考えられますが、道路が冠水している状況では、徒歩での来校が安全とは限りません。その時々状況に応じた判断が必要です。

また、電話が集中し、その対応に多くの時間と人手を要したことも課題です。緊急時に、必要な情報をどのようにお伝えし、学校が必要とする情報をどのように受け取るのかについても、改めて検討します。

さらに、昨日の下校の判断のため、教頭が通学路の安全確認を行ったのですが、クルマが冠水する危険もあり、教職員が危険個所を見に行くことは、二次災害に遭う恐れがあることもわかりました。

今回いただいたご協力と、そこから見えてきた課題を、次の備えにつなげていきます。

災害はいつ発生するかわかりません。今後も、訓練とは違う対応を臨機応変に行う可能性がありますので、ご理解、ご協力をお願いします。

学校ホームページ「学校の様子」をよろしくお願いします！

学校ホームページ「学校の様子」から、いろいろな情報を発信しています。AIを使い、やさしい日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語版も添えています。「学校の様子」または「新着情報」からお入りください。



https://www.yokkaichi.ed.jp/~ohyachi/cms2/htdocs/?page_id=250

「興譲」は保護者のみなさまに Home & School で配信するとともに、地域のみなさまに向けて学校ホームページ「学校の様子」（上のリンク）でも発信しています。